



校長だより

# 日中丸



第22号  
R1. 11. 28

日間賀中学校長  
鈴木 康弘

※イラストは、本校生徒 宮地志奈さん が作成

## 学校公開日 11.19(火)

11月19日(火)に学校公開日を行いました。5時間目を公開しました。1年生は英語。2年生は総合的な学習の時間、3年生は保健体育を行いました。大型モニターを使ったりグループでの話し合いを発表したりと、いろいろな授業の形を参観していただきました。参観していただきました皆様、ありがとうございました。



## 学校保健委員会 11.19(火)

授業公開に引き続いて、学校保健委員会を行いました。今回のテーマは「考え方を変える練習をしてみよう!」です。1学期に学んだストレスへの対処の仕方を振り返った後、学校生活でよくある落ち込みやすい事例について気分が落ち込まないでいられるような考え方について話し合いました。ネガティブにならずに、ポジティブに考えることがよい結果につながることに気付くことができたようです。さっそく実践していけるといいですね。



## 後期の級長・生徒会役員・委員長です

これまでのよき伝統を引き継ぎ、日間賀中学校のさらなる成長のため、中心となつてがんばってくれることを期待します。

### 【級長】

1年 大西 航平・鈴木莉央奈  
2年 大西 瑠生・鈴木 杏奈  
3年 宮地 将也・鈴木 莉沙

### 【生徒会役員】

会 長 鈴木 湊  
副会長 久田 子寧  
書 記 北川 結唯  
会 計 坂口 諒祐

### 【委員長】

図 書 北川 結夢  
環境・美化 鈴木 翼  
広 報 大西 央典  
保健・給食 宮地 颯志

## 朝会より 11.25(月)

### 生徒発表（11月のテーマ：私が薦める本について）

#### 鈴木琴音さん（1年）

私が薦める本は、野口英世の本です。野口英世は、左手を大やけどし、指がない状態でした。学校の子たちからは「指がない」などといじめを受けていたのですが、野口英世は誰よりも頭がよく、いじめられなくなりました。ほかの学校へ入学し、その学校の友達や自分の家族から援助を受けて手の手術をし、指が動くようになりました。左手の手術で医学のすばらしさを実感し、医学の道を志しました。

私はこの話を読んで、野口英世は努力したんじゃないかと思います。いじめられているから見返してやろうと、勉強をがんばったんじゃないかと思いました。私も、野口英世のように、何事にも一生懸命努力していきたいです。

#### 鈴木優太郎さん（1年）

僕が薦める本は、「ぼくらの七日間戦争」です。この作品は、子どもたちが廃工場へ立てこもるという形で大人に反抗し、様々な罠を使い、子どもたちを反省させようと廃工場へ来る大人たちをおとし入れるという内容になっています。

子どもたちは、親や先生に反抗心をもっています。普段は親のいうことばかり聞いている子も、7日間の立てこもりで強くなり、親を追い返すのです。子どもたちには、「悪い大人」つまり、暴力をふるう教頭にも罠を使い、追い返すのです。

僕はこの作品から、「勇気」や「反抗」、ほかにもいろいろなことを教えられました。大人たちが見事に罠にはまるのもおもしろいです。ぜひ、読んでみてください。

### 新井聖人先生の話

### こんな話をしてくれました。

私がお薦めする本を紹介します。2、3年生は歴史の教科書でこれを見たことがあるこの写真の石碑に名が刻まれている人たち、阿弋流夷（アテルイ）と母礼（モレ）が主人公である「火怨」です。

これは作者高橋克彦の陸奥三部作の一作目です。奈良時代末期から平安時代初期の話で、坂上田村麻呂も大きく関わってきます。坂上田村麻呂は、征夷大將軍としてみなさん知っていると思います。では、なぜ坂上田村麻呂は征夷大將軍となり、現在の東北地方を制圧したのでしょうか。なぜ、阿弋流夷たちは、朝廷に反抗したのでしょうか。

当時、東北地方に住む人たちは蝦夷（えみし）と呼ばれ、天皇から「狼などの獣と同じく人にあらざるもの」と言われていました。同じ人であるにもかかわらず、人ではないとされ、田畑は荒らされ、好き勝手に乱暴され、抵抗すれば殺される生活を送っていました。

私は、この本を読み、人は何を大切に思い、何のためには戦うべきなのかを考えさせられました。読みながら胸が熱くなり、涙が流れてきてしまいました。阿弋流夷たちの想い、坂上田村麻呂の想い、どちらも熱く、私の胸にとっても響きました。ぜひ読んでほしいです。また、この作品の続きである「炎立つ」や「天を衝く」などもぜひ読んでください。

